

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

職員による自己評価

A環境面

肢体不自由児などのスペースも工夫し、排泄室も完備している。

学習スペースがうまく取れない場合があるため工夫が必要。

B 児童への支援内容

平日でも公園活動や電車学習、買い物学習を取り入れたことで、子どもたちの経験を増やすことができている。

休日の行事を強化し、普段ご家庭で行きづらい場所にも行くことができている。

C 関係機関との連携

学校へは定期的に訪問させて頂き、支援学校の先生などと情報交換している。ケース会議にも参加し、利用時の様子や親御さんの様子なども共有している。

D 保護者への説明責任・信頼関係

半年に一回面談を設け、連絡帳以外に、1ヶ月に一度写真付きの報告書をお渡ししている。

通ってから元気になった、生活にリズムがついた、学校へもスムーズに通えるようになったなどの評価を頂けている。

E 非常対応

障害の重い児童が多いため、毎月避難訓練を実施している。職員、児童も不測の事態に対応できるように準備している。

保護者による評価

A環境面

特に要望なし

B 児童への支援内容

・季節に合った様々なプログラムが計画されて楽しそう。

・休日の行事が多くなり、できるだけ参加させたいと思う。

・色々な活動を楽しんでいます。

C 事業所からの情報発信

毎月報告書をもらい、わかりやすく安心できる。連絡帳や送迎時にも説明をもらえるので助かる。

面談を通して意見も伝えさせてもらっている。

毎日の SNS 配信で、取り組みがわかりやすい。

D 非常対応

避難訓練を毎月実施してもらっているのは安心できる。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 行事や取り組みを評価していただけている。
- ・ 毎月の報告書は、安心材料になっている。
- ・ SNS での発信も確認していただけて、タイムリーに取り組みを把握してもらえている。
- ・ 避難訓練の内容も報告していることで、安心材料になっている

【相違点】

特に大きな相違点はなかったが、他の子どもたちとの交流が少ないと感じられている様子。必要が無いと思われる親御様も多いが、公園などで交流がある場合もあるので、できるだけ発信するようしていく。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 豊富な外出行事。
- ・ お金の使い方や公共の乗り物の練習など、社会性を養う取組を実施している。
- ・ 毎月の評価して細かい報告を行なっている。
- ・ 月一回の報告書
- ・ 情報発信（報告書や SNS）

事業所の改善点

- ・ 外部の子どもたちとの交流実施、報告。
- ・ 父母会の実施

事業所の改善への取り組み

他児童との交流など、行なっているのにお伝えできていない場合が多いため、連絡帳や送迎時、面談時に、お伝えするようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

外出行事を増やしたことで、以前よりも評価を頂いていると感じた。
今あるものを継続しながら、より安心していただけるように、発信の質を高めていく必要があると感じた。

事業所名 パレットハウス児童デイサービス和田町
担当者 石井 翔太